

# MERS (中東呼吸器症候群)

県感染症情報センター

## 声なき感染症を知る

◆64◆

今月は「MERS (マーズ)」という、比較的新しい感染症のお話です。初めて見つけたのが2012年なので、まだまだ分からないことも多く、知名度も低い呼吸器の疾患です。主にアラビア半島の中東地域で患者が多く発生しています。ドバイなどの観光地も含まれるため、日本からの渡航者も多い地域です。今月は、海外旅行で注意しなければならぬ感染症のひとつ「MERS」についてお話しします。

▽MERSの症状  
中東呼吸器症候群 (Middle East Respiratory Syndrome) を略してMERS (マーズ) と呼んでいます。2~14日の潜伏期間の後、発熱、咳等から始まり、急速に肺炎まで進行し、呼吸困難に至ります。高齢者や糖尿病、腎不全などの基礎疾患がある人は、より重症化しやすいとされます。

▽高い致死率  
ワクチンや治療薬がなく、中東地域では、症状が悪化して死亡する割合は約35%と高く、非常に怖い感染症です。

▽ヒトコブラクダがウイルス保有  
ヒトコブラクダがMERSコロナウイルスの保有宿主 (感染源動物) であると言われています。MERSが発生している中東地域でのラクダとの接触 (乗る・触る) や、ラクダ肉やラクダ乳を未加熱で摂取することで感染する恐れがあるとされています。

▽人から人へも感染

## 観光地ドバイも注意 ラクダと接触は回避

### ▽MERSの原因

原因となる病原体は「MERSコロナウイルス」です。2003年に大きな問題となったSARS (サーズ) と同じコロナウイルスの仲間ですが、別のウイルスです。SARSはその後、患者発生はみられませんが、MERSは2012年以降、アラビア半島諸国等で継続して患者が発生しています。

さらにMERSは、非常に希ですが、発症した人から他の人へと拡大することが分かっています。2015年には、中東から韓国に帰国した男性を発端として、韓国内でMERSの流行拡大がありました。ほとんどが病院内感染で拡大したとされています。

▽人気観光地でも発生

これまでMERS患者が発生している

発生が報告されている中東諸国



MERSの発生地域 (出典=厚生労働省ホームページ)

国は、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、ヨルダン、カタール、オマーン、クウェート、イエメンなどです。人気の観光地のドバイは、アラブ首長国連邦のひとつです。

これらの地域で、ラクダとの接触や、殺菌されていない乳や肉の喫食があった場合には、発症していません。帰国時に検疫所での申告が必要で、検疫所が最大14日間の健康監視 (毎日、検疫所に体温等の健康状態を報告する) を行う場合があります。ラクダに乗って写真を撮るというのが、ツアーのイベントのひとつとして組み込まれていることもあるようです。

ですが、流行する地域では控えた方がいいでしょう。  
なお日本国内で、MERSコロナウイルスを保有しているヒトコブラクダは、いないことが確認されています。

▽帰国後の注意  
MERSが疑われる患者またはラクダと接触した可能性がある方は、必ず、帰国時に検疫所で申告し、指示を受けてください。帰国時、すでに発熱や咳などの呼吸器症状がある方も同様です。

帰国後14日以内に、発熱や咳などの呼吸器症状がみられた方は、医療機関を受診する前に、速やかに最寄りの保健所に電話で連絡してください。  
自分自身が感染しないように、人にうつさないように、拡大させないように、皆さんの協力をよろしくお願いたします。

(県感染症情報センター)